

日本の文学

Literature of
Japan

雨の降る日は学校に行かない



相沢沙呼 著
集英社

教室に居場所のないサエとナツ。彼女たちにとって保健室は、唯一心休まる場所だった。しかしある日、サエが「自分の教室に戻る」と言い出して……。人間関係に傷つき悩む少女たちを描く連作短編集。

頭のうちどころが悪かった熊の話



安東みきえ 作
下和田サチヨ 絵
理論社

木の枝のすきまがつくる空を、美しいシラサギと信じて見とれるカラス。決まりどおりにすることに納得できないオタマジャクシ。一生懸命我が道を行く動物たちが主人公の、おかしいけれどなぜか切ない小さな7つの物語。

麦ふみクーツェ



いしいしんじ 著
理論社

音楽家の祖父と素数にとりつかれた父、ねこと呼ばれる体の大きなぼく。麦をふむクーツェの声はぼくにしか聞こえない。ぼくに起きる様々な悲喜劇が、最終章にむかって祝福のシンフォニーのように鳴り響く。

キャベツ



石井睦美 著
講談社文庫

ご飯のしたくをしなくちゃならないから、ぼくは泣かないー中学2年のキャベツの決意の日から、母親と妹のために家事をこなすようになったぼく。ある日、妹のたくらみで、妹の親友とデートをすること。

ラヴソング



石津ちひろ 詩
植田真 絵
理論社

「リサとガスパール」シリーズの翻訳者でもある著者による詩集。恋をした時のもどかしくて甘酸っぱい気持ちが、自然と言葉になってあふれ出てきたかのような、軽やかでリズムカルな恋の詩の数々。

ぎぶそん



伊藤たかみ 著
ポプラ社

「どや、ガンズ・アンド・ローゼズ、ええやろ？」ケンカをして、恋をして、酔っ払いのじいちゃんに怒鳴られて…。14歳のまっすぐな生き方が爽快な、音楽青春ストーリー！

鬼の橋



伊藤遊作 太田大八 画
福音館書店

妹の死にとらわれ、苦しい日々を送る篁。父がつくったという橋を守る少女阿子那と出会い、彼の心は少しずつ変化しはじめる…。夜な夜な閻魔大王の下で働いていたという伝説もある平安時代の官僚、小野篁の少年時代を描いたファンタジー。

獣の奏者 1～, 外伝



上橋菜穂子 作
講談社

ある日、王国の何匹もの闘蛇が一度に死んだ。獣ノ医師であるエリンの母親は責任を取って処刑される。孤児となったエリンは、王獣に出会い、やがて思いがけない不思議な力を発揮するのだったが…。

ミーナの行進



小川洋子 著
中公文庫

私が預けられたお婆の家には、体が弱く、カバのポチ子に乗って通学する小学6年生・ミーナがいた。そんなミーナとの1年あまりの生活は、不思議で、幸福で、私がこれまで体験したことのないものだった。

空色勾玉



空色勾玉

萩原規子 作
徳間書店

15歳になった村の娘狭也は、ある満月の祭の夜、木立の中で衣ずれの音を聞いた。ふと見ると目の前に、月代王が現れた。夢まぼろしかと動揺する狭也を、月代王は王宮へ誘う…。古代日本を舞台にしたファンタジー。

月の影影の海 [十二国記] 上・下



小野不由美 著
講談社

平凡な高校生陽子の前に現れたケイキと名乗る謎の青年。陽子のことを主とよぶ彼に導かれ、彼女は見知らぬ世界に足を踏み入れる。そこは十二の王と十二の麒麟により治められる、十二の国からなる世界だった。

夜のピクニック



恩田陸 著
新潮文庫

歩行祭が始まった。夜を徹して、ただ歩き続ける。高校生生活最後のイベントだ、脱落するわけにはいかない。そして貴子は、ある賭けをしていた。この歩行祭を無事に終わらせたなら、はっきりさせなければならぬことがあるのだ…。

医学のたまご



海堂尊 作
理論社

僕、曽根崎薫は普通の中学生。ところが、ひょんなことから潜在能力テストで日本一になり、東城大の医学部で研究をすることに。膨大な課題をなんとかごまかしているうちに、いきなり大発見をしてしまったらしい!?

ビート・キッズ



風野潮 著
講談社文庫

ドラムの響きは、俺の心の火花。ごっつい花火をどーんと打ち上げよう！持ち前の天然ボケパワーで明るく生きる英二は、ある日吹奏楽のパーカッションに誘われて…。

ぼくの守る星



神田茜 著
集英社

中2の翔は、いつも読み間違いをしてしまうので、面白いことを言って笑わせるお調子者だと思われている。けれど、翔にはみんなを笑わすつもりなんかない。字の読み書きが難しい、とある事情があるのだ。

リボン



草野たき 著
ポプラ社

卒業式に先輩から制服のリボンを買う伝統のある学校。人気があるのは、彼氏持ちの先輩。亜樹が義理で貰いに行った先輩は、なぜカリボンをくれなかった。恋、友情、才能、進学。亜樹の生活の何かが変わっていく。

八月の光



朽木祥 著
偕成社

1945年8月6日広島。13歳の光子は女学校へ向かっていた。光子は翌日から疎開するはずだった。一瞬にして奪われた日常。あれから自分を失ってしまった少年。あの時あの場所にいた少年少女の三人の物語。

妖怪アパートの幽雅な日常 1～



香月日輪 著
講談社

俺、稲葉タ士。中1の時、突然の事故で両親をなくした。不安、絶望…。運命に導かれるようにやってきたここ“寿荘”。不思議な住人たちとの妖しく美味しい暮らし。この「妖怪アパート」の部屋の鍵が欲しくないかい？

どろぼうのどろぼん



斉藤倫 作
牡丹靖佳 画
福音館書店

どろぼうのどろぼんにはモノの声が聞こえる。存在を忘れられたり、いらなくなってしまうモノたちの声がある日、どろぼんは「盗んではいけないもの」を盗んでしまい……。

楽園のつくりかた



笹生陽子 著
角川文庫

突然、田舎に転校することになったエリート中学生の優。同級生は変なやつばかり3人。こんなところ最悪だ。優の退屈を紛らしてくれるのは、時おり届くお父さんからのEメール。ところが……。

黄色い目の魚
佐藤多佳子



黄色い目の魚

佐藤多佳子 著
新潮文庫

似顔絵を描くのが好きな俺は、7年ぶりに絵描きで父親のテッセイに会ってから、本当に描きたいことにこだわるようになってしまった。そんな俺の絵を、同じクラスの村田みのりはずっと見ててくれる。連作短編集。



深夜特急 1～6



沢木耕太郎 著
新潮文庫

乗り合いバスを乗り継ぎ目指すはロンドン。東京を出発しマカオ、インド、ネパール…。「何かが起こる旅」を求め、「深夜特急」という名の人生を走る青年。行く手に待ち受けるものは？ 読みつがれる旅のバイブル。

キノの旅 [1] ～ the Beautiful World



時雨沢恵一 著
黒星紅白 イラスト
アスキー・メディアワークス

人間キノは、言葉を話す二輪車エルメスと旅を続け、さまざまな国を訪れる。1つの国に滞在するのは3日だけ。彼らがそれぞれの国で出会うのは、美しいものばかりではない。キノが旅をする理由とは…。

きみの友だち



重松清 著
新潮社

ある雨の日、恵美の傘に次々と友だちが入ってきた。あきらめて道路へ飛び出したとたん、恵美は車にひかれてしまう。「あんたらのせいだから！」退院しても心を開くことができない恵美だったが…。最後は希望をもらえます。

幸福な食卓



瀬尾まいこ 著
講談社

私、中原佐和子は中学2年生。母さんは家出して、父さんと兄の直ちゃんと暮らしている。いろんなことがある毎日だけど、塾で出会った大浦君と過ごす時間はとても楽しい。でもこの幸せは、永遠じゃなかった…。

人間失格



太宰治 著
集英社文庫

「恥の多い生涯を送って来ました」。取り返しのできない過ちを繰り返す、果ては薬物におぼれていく主人公。その結末に待つものは？ 太宰治の自伝であり遺書であるといわれている作品です。
*他の出版社からも出ています。

ポケット詩集 [1] ～3



田中和雄 編
童話屋

〈僕はじっと眼をつぶる／すると／僕のなかを明日の方へとぶ／白い美しい蝶がいるのだ〉(黒田三郎「僕はまるでちがって」より)
詩のことばによって変わる自分。明日を生き抜くためのことばの花をポケットに。

谷川俊太郎詩選集 1～4



谷川俊太郎 著
田原 編
集英社文庫
現代日本を代表する詩人、谷川俊太郎のすべての詩作から厳選された作品集。「朝のレー」など、きっと誰もが一度は読んだことのある谷川さんの詩。あなたのお気に入りを見つけてください。

初恋素描帖



豊島ミホ 著
KADOKAWA メディアファクトリー
クラスの中に必ずいる、ちょっと気になるあの人。片想いの人も両想いの人もみんな抱える、あのままならない気持ち。中学生男女20人の恋心を描いた、連作短編集です。
*現在書店等での購入はできません。
お近くの図書館等でお探してください。

楽隊のうさぎ



中沢けい 著
新潮文庫
小学生時代ははじめられこだった克久。中学校に入ったら、なるべく学校にいる時間を短く過ごそうと考えていたが、ひょんなことから吹奏楽部に入部することに。戸惑いながらも音楽に夢中になる克久はやがて…。

ミュージック・ブレス・ユー！！



津村記久子 著
KADOKAWA
高校3年生のアザミは考える、「音楽について考えることは、自分の人生について考えることよりずっと大事」。進路も決まらず補習の連続、そんなグダグダな毎日を支えるのは、パンクロックだった！

水底の棺



中川なをみ 作
村上豊 画
くもん出版
約800年前の大阪狭山池。飢えと死をよぶその泥池のほとりから、一人の貧しい少年・小松が京へ売られた。食べるためだけに生きる小松だったが、やがて故郷の池を改修するために命をかける。

汚れつちまつた悲しみに…

- 中原中也詩集 -



中原中也 著
集英社文庫
「ホラホラ、これが僕の骨だ」一やりきれない寂しさと絶望感。中原中也は、繊細でありながら激しく自らの心のうちを言葉に写し取る。30歳でこの世を去った天才詩人の代表作。
*他の出版社からも出ています。

西の魔女が死んだ



梨木香歩 著
新潮文庫

中学校に入ったばかりのまいは、学校へ行けなくなってしまった。両親はまいを、田舎のおばあちゃんのところへ連れて行く。楽しく暮らし始めたまいに、ある日おばあちゃんが言った。「まいは、魔女って知っていますか。」

流れ星が消えないうちに



橋本紡 著
新潮文庫

奈緒子は、半年前から玄関で寝ている。加地くんを事故で失ってから、もう部屋では眠れなくなってしまった。大切な人を失った深い悲しみと、その悲しみを抱いて生きていく人たちを描いた物語。

まち 都会のトム&ソーヤ1～



はやみねかおる 著
講談社

頭脳明晰^{めいせき}だけど、どこか人を寄せ付けない雰囲気^{ふんいき}の創也。そんな創也の秘密を知った内人は、胸躍る冒険の毎日を送ることに！はたして2人は謎の天才ゲームクリエイターを見つけることができるだろうか？

サッカーボーイズ -再会のグラウンド-



はらだみずき 著
KADOKAWA

どの町にでもある少年サッカークラブ。監督はチームが上手くいかないことに苛立ち、チームの雰囲気は悪くなる一方。そんな時チームに現れたのは、強豪チームから移籍してきたリョウと、謎の新任コーチだった。
*続刊あります。

きまぐれロボット



星新一 著
KADOKAWA

お金持ちのF氏は、料理でも話し相手でも何でもできるロボットを連れて、離れ島の別荘へバカンスに。ところが、次第にロボットはおかしな行動を…。ショートショートの名手・星新一の作品集。
*他の出版社からも出ています。

幸子の庭



本多明 著
小峰書店

96才の久子お婆ちゃんが幸子の家にやってくるようになった。ところが、お婆ちゃんの思い出の庭は今や荒れ放題だから皆大慌て。職人たちのすずやかな^{はらみ}音とともに庭が美しく整えられていくにつれ、眠っていたような幸子の心にも変化が生まれる。

武士道シックスティーン



菅田哲也 著
文春文庫

3歳の頃から剣道に明け暮れ向かうところ敵なしの侍少女・香織は、あろうことか市の大会で面をとられて一本負けを喫した。どこか得体の知れない剣道をする“甲本”と剣を交えるため、香織は甲本の学校に入学するが…。

*続刊あります。

銀河鉄道の夜



宮沢賢治 著
KADOKAWA

病気の母を助けて活版所ではたらくジョバンニ。ケンタウル祭り之夜、さみしさを抱えて丘にのぼったジョバンニは、気がつくと、親友カムパネルラとともに、不思議な列車の中にいた。銀河をめぐるこの列車の行き先は…。表題作ほか、短編7作を収録。

*他の出版社からも出ています。

あの日、ブルームーンに。



宮下恵栄 著
ポプラ社

外見も好みもまじめで、クラスメイトからちょっと浮いている結愛。そんな結愛が中3の春、金髪と同級生・瞬とふとしたきっかけから親しくなった。サイダーのあわのような、やさしく切ない恋のおはなし。

龍は眠る



宮部みゆき 著
新潮文庫

ある能力を持つ少年と雑誌記者が大型台風之夜に出会った1つの事故、それが事件へと発展して…。真実を語ることは罪なのか？龍とは何か？宮部みゆき初期の瑞々しい作品。

東雲侑子は短編小説をあいしている



森橋ビンゴ 著
Nardack 画
KADOKAWA

英太と一緒に図書委員をしているののゆうこは、いつでも本を読んでいる。本も読まない、なにごとにも無気力な英太だけれど、ある秘密をかかえた彼女と「付き合うふり」をすることに。英太には想う人がいるのに……

*続刊あります。

ポプラの秋



湯本香樹実 著
新潮文庫

父が急死し、母と7才の私は大きなポプラの木の あるアパートへ。その大家は不気味で恐そうなおばさんだった。父の死に怯える不安定な私を、おばさんとの日々が再生していく。そして18年後、再びアパートを訪れた私は…。